

進捗報告書（実行団体）

事業名:	北名古屋市のひとり親家庭、生活困窮家庭支援事業
資金分配団体:	一般社団法人全国フードバンク推進協議会
実行団体名:	特定非営利活動法人フードバンク愛知
実施時期:	2021年6月～2022年2月
事業対象地域:	愛知県
事業対象者:	ひとり親家庭、生活困窮家庭

Version 1.2

日付: 2021年11月12日

I. 事業概要

事業概要
困窮するひとり親家庭への食料品、日用品支援。収入格差が子どもの教育機会の格差となり、世代間貧困連鎖を配布支援により生活費用の助け、家庭内の困りごとにいち早く気づき行政と連携し、支援につなげることの活動事業

II. 進捗報告の概要

総括
現在まで配布支援数の遅れはあるが、愛知県、北名古屋市、県社協の協力により、計画内の活動を順次進めている。配布する食材は順調に集まっていますが、問題は、活動拡大の部分にあり、当初予定をしていた、対象者への告知と行政等施設の利用制限が緊急事態宣言の再発動により、スムーズに行えない状況となっており、遅延あり。今後は必要とされる対象者がすべて参加できる様、社協など連携をしながら実施をしていく予定。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
これまで把握できていなかった。ひとり親等の困窮世帯や潜在的に支援が必要な世帯を早期に行政に繋ぐ活動を進め、市民活動として活動の継続を続ける仕組みづくり。	市役所、子ども食堂等既存の生活圏である複数のコミュニティーで、食材を配布することにより気軽に立ち寄れる場所が確保できた。また、市職員及び関係各所、問題意識を持った市民の参加により生活圏の近くで支援を必要とする方たちに声を掛け、連れ添って参加者は増加している。現在は本事業の助成を受けているが、活動を知った支援者が食材・日用品等を持ち込んでいる。市長を含め市職員達の声のかけのおかげで市内の企業にも支援の繋がりが出来つつある。

活動	進捗状況	概要
北名古屋市、北名古屋社会福祉協議会と連携し、食料品の配布支援	遅延あり	北名古屋市、北名古屋社会福祉協議会と連携し、北名古屋市役所庁舎等を利用し、月1回のペースで、食料品の配布支援を行っています。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
そもそも、フードロス食品は、対象者が選択できる食材ではないのですが、これほど必要としている方が多いと改めて驚いています。本事業での資金により、数々の協力者が現れるきっかけとなり支援の輪が確実に広がりを見せています。近くのスーパーでは場所の提供を受けてフードドライブを行い、12月からの配布の食材に広がりがでています。これまでは、緊急事態宣言により活動を小さくしていましたが、これから市民ボランティアの応募も沢山あり、行政の職員も自ら毎月数十名が参加頂いています。誰ひとり残すことなく活動を続けて行きたいと感じています。

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥4,181,940	¥4,181,940	¥1,580,092	38%
	管理的経費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
合計		¥0	¥4,181,940	¥4,181,940	¥1,580,092	38%

補足説明	当初予定をしていた、対象者への告知と行政等施設の利用制限が緊急事態宣言の再発動により、スムーズに行えない状況となっており、遅延あり。今後は必要とされる対象者がすべて参加できる様、社協等と連携をしながら実施をしていく予定。
-------------	--

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応

緊急事態宣言による施設使用縮小、必ず必要なお米などの不足があげられます。施設は民間の施設も入れることにより公共施設との複合型で対処する必要が有る。お米などは農家との連携を広げ、古米の大量保管場所の確保を探していきます。

VII. その他

自由記述

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	地元新聞紙、タウンペーパー、SNS等
広報制作物等	有	チラシ作成し、SNS等で開示した。
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	